



2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月15日

上場会社名 株式会社ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 4433 URL <http://www.hitocom-hd.com>
代表者(役職名) 代表取締役社長グループCEO (氏名) 安井 豊明
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 社長室長 兼 経営企画部長 (氏名) 飯島 幸一 (TEL) 03(5924)6075
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第3四半期の連結業績(2024年9月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	47,691	7.1	1,867	27.5	1,871	29.7	841	101.9
2024年8月期第3四半期	44,537	△9.6	1,464	△59.8	1,442	△60.9	416	△79.4

(注) 包括利益 2025年8月期第3四半期 911百万円(48.5%) 2024年8月期第3四半期 613百万円(△71.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	47.16	—
2024年8月期第3四半期	23.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第3四半期	39,679	18,824	43.7
2024年8月期	40,103	18,614	43.0

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 17,347百万円 2024年8月期 17,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2025年8月期	—	18.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	—	—	19.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については本日(2025年7月15日)公表の「期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日～2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,333	6.5	2,200	40.2	2,205	43.5	1,073	—	60.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2社(社名) 株式会社FMG Ramp Solutions、除外 社(社名)
フィグニー株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年8月期3Q	17,899,333株	2024年8月期	17,899,333株
2025年8月期3Q	56,933株	2024年8月期	56,933株
2025年8月期3Q	17,842,400株	2024年8月期3Q	17,842,400株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料は、作成後当社ホームページに速やかに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年9月1日から2025年5月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかに回復しております。一方で、米国の通商政策による不透明感に伴う景気下振れリスクやエネルギーコストや原材料価格の高騰による物価上昇が継続し、家計・企業を取り巻く環境は改善傾向にあるものの予断を許さない状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループは「マーケティングの未来創造企業グループ」をテーマに、「ヒューマン営業支援」と「デジタル営業支援」を有機的に融合した「オムニチャネル営業支援企業」としての更なる事業リソースの充実に向けた取り組みを継続しております。具体的には、当社グループ各社が持つ専門性を継続的に高めるとともに、必要に応じて外部リソースを柔軟に活用することで、グループ全体の総合力を高めるとともに事業シナジーの最大化に取り組みます。これにより、雇用機会や新規事業を創出し、社会課題の解決を通じた持続可能なより良い社会の実現に向けて貢献してまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、中期経営計画における重点領域である「エアポート」において、空港グランドハンドリング事業がランプ業務の新規拠点展開による新規受注が好調に推移したこと並びに「ホールセール」において、IPライセンスを活用した商品やインフルエンサーとのコラボ商品等の高付加価値商品の販売が好調に推移しました。

一方で「販売系営業支援」において家電・ストア分野等の受注が伸び悩んだほか、「デジタル営業支援」においてECサイト受託支援事業の一部クライアントの案件終了がありました。

以上の結果により、当第3四半期連結累計期間の売上高は47,691百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は1,867百万円（前年同期比27.5%増）、経常利益は1,871百万円（前年同期比29.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は841百万円（前年同期比101.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

(アウトソーシング事業)

当第3四半期連結累計期間においては、「販売系営業支援」が家電・ストア分野を中心に減収となりましたが、株式会社FMG及び株式会社fmgの業績寄与により、「エアポート」において空港における各種業務が増収となりました。

その結果、売上高は18,986百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は477百万円（前年同期は182百万円の営業損失）となりました。

(人材派遣事業)

当第3四半期連結累計期間においては、需要の拡大が見込まれる空港、ホテル等インバウンド領域、新規領域として物流分野における人材サービスの営業に注力し増収となりました。しかしながら、政府や地方公共団体が推進する接種会場の運営支援等、新型コロナウイルス感染拡大対策関連業務の受託が終了し減収となりました。

その結果、売上高は6,537百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は314百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

(EC・TC支援事業)

当第3四半期連結累計期間においては、特にファッションやスポーツ分野でのEC需要の拡大を背景に、蓄積したノウハウを活用して既存クライアントの業績向上や新規運営サイトの拡大に取り組みました。しかしながら、一部クライアントのECサイトの契約終了により減収となりました。

その結果、売上高は7,204百万円（前年同期比11.5%減）、営業利益は352百万円（前年同期比49.8%減）となりました。

(ホールセール事業)

当第3四半期連結累計期間においては、秋冬物・春物のトレンド商品の販売が好調に推移いたしました。また、IPライセンスを活用した商品やインフルエンサーとのコラボ商品等の高付加価値商品の販売が好調に推移いたしました。

その結果、売上高は12,503百万円（前年同期比31.0%増）、営業利益は675百万円（前年同期比34.8%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産の残高は、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末に比較して423百万円減少して、39,679百万円となりました。

負債の残高は、買掛金等の減少等により前連結会計年度末に比較して633百万円減少して、20,855百万円となりました。

純資産の残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により前連結会計年度末に比較して210百万円増加して、18,824百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の業績予想につきましては、2025年4月14日公表の「2025年8月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」の数値より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,251	10,897
受取手形、売掛金及び契約資産	10,355	11,439
商品	437	545
仕掛品	34	61
その他	2,176	1,690
貸倒引当金	△8	△26
流動資産合計	27,247	24,607
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,179	1,270
減価償却累計額	△620	△669
建物及び構築物（純額）	558	600
機械装置及び運搬具	96	1,107
減価償却累計額	△42	△112
機械装置及び運搬具（純額）	53	995
工具、器具及び備品	760	841
減価償却累計額	△564	△622
工具、器具及び備品（純額）	195	219
土地	1,273	1,273
リース資産	103	113
減価償却累計額	△77	△82
リース資産（純額）	25	30
建設仮勘定	406	1,383
有形固定資産合計	2,515	4,503
無形固定資産		
のれん	6,841	6,302
ソフトウェア	989	831
その他	152	151
無形固定資産合計	7,983	7,286
投資その他の資産		
投資有価証券	672	592
関係会社株式	331	1,006
関係会社長期貸付金	176	465
繰延税金資産	475	502
その他	1,056	1,068
貸倒引当金	△354	△353
投資その他の資産合計	2,357	3,282
固定資産合計	12,855	15,071
資産合計	40,103	39,679

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,246	4,923
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	1,684	1,313
リース債務	8	9
未払金	3,099	3,456
未払法人税等	256	534
賞与引当金	205	345
その他	1,163	1,859
流動負債合計	12,763	12,543
固定負債		
長期借入金	7,714	7,073
リース債務	24	25
繰延税金負債	1	—
役員退職慰労引当金	389	424
株式給付引当金	76	95
退職給付に係る負債	379	513
資産除去債務	79	124
その他	60	53
固定負債合計	8,725	8,312
負債合計	21,488	20,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	450	450
資本剰余金	91	91
利益剰余金	16,702	16,891
自己株式	△100	△100
株主資本合計	17,144	17,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	△0
為替換算調整勘定	32	15
その他の包括利益累計額合計	92	14
非支配株主持分	1,377	1,477
純資産合計	18,614	18,824
負債純資産合計	40,103	39,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
売上高	44,537	47,691
売上原価	35,270	38,173
売上総利益	9,267	9,518
販売費及び一般管理費	7,802	7,650
営業利益	1,464	1,867
営業外収益		
受取利息	3	8
受取配当金	0	0
受取補償金	12	24
違約金収入	1	20
その他	8	48
営業外収益合計	26	101
営業外費用		
支払利息	29	54
貸倒引当金繰入額	—	30
支払補償費	1	—
その他	16	12
営業外費用合計	48	97
経常利益	1,442	1,871
特別利益		
投資有価証券売却益	—	87
特別利益合計	—	87
特別損失		
投資有価証券評価損	—	21
特別損失合計	—	21
税金等調整前四半期純利益	1,442	1,938
法人税等	852	945
四半期純利益	590	992
非支配株主に帰属する四半期純利益	173	151
親会社株主に帰属する四半期純利益	416	841

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	590	992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△60
為替換算調整勘定	22	△20
その他の包括利益合計	23	△81
四半期包括利益	613	911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	436	763
非支配株主に係る四半期包括利益	176	147

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の変更

株式会社FMG Ramp Solutions及びフィグニー株式会社は重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、連結子会社のうち決算日が7月31日であった株式会社FMG及び株式会社fmgは同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、第1四半期連結会計期間より決算日を8月31日に変更しております。

この決算期変更に伴い、当第3四半期連結累計期間において、2024年8月1日から2025年5月31日までの10カ月間を連結しております。

なお、この変更が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、この変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額
	アウトソー シング事業	人材派遣 事業	EC・TTC 支援事業	ホールセー ル事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,704	6,723	8,143	9,545	42,116	2,420	44,537	—	44,537
セグメント間の内部売上高又は振替高	23	158	23	4	210	596	806	△806	—
計	17,727	6,882	8,166	9,550	42,327	3,016	45,343	△806	44,537
セグメント利益または損失(△) (注) 1	△182	344	700	501	1,364	114	1,479	△14	1,464

(注) 1 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護サービス、教育研修、富裕層向けリムジンサービス、システム開発関連サービス等を含んでおります。

3 セグメント利益または損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社資産にかかる減価償却費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額
	アウトソー シング事業	人材派遣 事業	EC・TC 支援事業	ホールセー ル事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	18,986	6,537	7,204	12,503	45,231	2,460	47,691	—	47,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	241	33	0	292	487	780	△780	—
計	19,002	6,778	7,238	12,504	45,524	2,948	48,472	△780	47,691
セグメント利益(注) 1	477	314	352	675	1,819	62	1,881	△14	1,867

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護サービス、教育研修、富裕層向けリムジンサービス、システム開発関連サービス等を含んでおります。

3 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社資産にかかる減価償却費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	326百万円	352百万円
のれんの償却額	586百万円	611百万円